

▽プログラム

自主編成プログラム(以下自主編)で文系の総合のようなことをしています。受講している科目としては、文化人類学、社会心理学、異文化コミュニケーション論、国際法など。まだまだ抽象的ですが、最終的には、マスメディアが異文化理解に与える影響について、考えていきたいと思っています。

これらに興味を持ち始めたのは、アメリカにホームステイしていた際の経験が発端です。滞在期間は高校時代の一年だけなんですが、その期間がたまたま9・11同時多発テロ事件前後で、自分なりに色んなことを考えました。私の最も身近な人の中にも、差別や偏見を受けた人がいて、私自身も彼らと親しくなるのに、何度もつまずいたりして…。そこから、自身が持つ偏見やそれを作り出す要因としてマスメディアの存在を意識するようになり、より専門的に勉強したいな、と思うようになったんです。

でも、メディアの影響力といっても、実際に見えるものではないから、より具体的な問題設定はどうするのか、実際に見えるものではないから、どのような形でそれを捉えるのか、など、問題は山積みです。そろそろ、自分の方向を定めなければなりません。もう少し知識を積んで見極めていきたいと思っています。自主編の魅力の一つは、自身の関心に合わせて、開講プログラムに関係なく、より柔軟に講義が受けられることです。でも、それ以上によい



丸一真美さん

15年度生 自主編成プログラム

と思うのは、自主編に取り組み中で積極性が身に付くことや、人とのつながりが作れることです。自主編を組む時はもちろん、組んだ後も、自分の問題意識と学問、あるいは、学問同士のつながりを考えていかなければなりません。それらに関する助言を頂くために、組む前も今も、よく研究室にはお邪魔していますし、他の興味関心を持つ友達の話も参考にしています。そういう風に自分で行動して作っていくコネクションは、プログラムに入ってから必然的に生まれるコネクションとは違う気がしますね。

▽課外活動

市民バンドに入ってクラリネットを吹いています。就職している人や受験勉強を頑張っている高校生など、様々なメンバーと音楽を楽しめる、学内バンドとは一味違う環境が刺激的です。私の場合、大学の中だけの狭い世界では、ダメになっちゃう気がして、それ以外にも、キャンパスツアーに参加して地域の方の話を聞くなど、常に外に目を向けるよう心がけています。

▽卒業後

漠然と、広報関係の仕事に就くことを選択肢の一つとして考えています。人に何かを伝えるって、やりがいのある仕事だと思うし、もともと、人と会って、文字からは伝わらない、その人らしさを感じるのが好きで、そこから得る知識や経験を大切にしたいから。

就職について考える時には、専門性を中心に考えがちだけど、これか

INTERVIEW
X TO
STUDENTS

らは、人間性も同時に磨いていかなければならないと感じています。学問が発展している分、大学四年間で身につけられる専門性って、とても限られると思う。だから、それはそれである程度のもので受け止めて、もっと大きな視点から自分なりの道を模索していきたいなど。悩むこともありますが、悩む時は悩む。常にアンテナを張って、最新の情報を取り入れつつ、エネルギーが戻ればまた動きだす、そういう自分なりのスタンスを、卒業までの間に確立していきたいと考えています。既存の枠にとらわれるのではなく、無駄や失敗が続いても、自分はこうなんだ、と自信を持って自分のよさも欠点も認められるような、ちょっと大きめの人間になりたいです。

(文 17生 村上真理恵)

▽プログラム

環境共生科学プログラムに所属しています。環境共生科学プログラムを選んだのは、自分の関心があるさまざまな分野が幅広く学べるところからです。環境の中でも、どちらかという社会環境系です。中学のときから環境問題には関心があったので、その後、社会環境という分野もあるのだと知りました。例えば、社会環境という分野では、住環境、職場環境、女性が子供を産みやすい社会の環境など、いろいろな問題があります。将来何をしたいかはまだはっきりとは決まっていないのですが、地域や生活に密着したことがやりたいと思っています。

また、展開研究を通じてユニバーサルデザインという考え方に興味を持ちました。誰にでも使いやすいものを考えるという視点は、毎日を生きていく上で大切なものだと思います。ユニバーサルデザインの考え方ができる人になりたいです。ユニバーサルデザインは確定したものとして「これ」といえるものがないので、そこが難しいところですが…。今は福祉住環境コーディネーターの資格試験を受けられたらと思っています。これからも、自分がユニバーサルデザインについてもっと深く知って、世間の人にも、知ってもらえたらと思います。

▽課外活動

賀茂地区BBS会とフォークソング同好会に入っています。いろいろな行事がいっぱいに重なったりして大変な面もありますが、楽しいです。賀茂地区BBS会はボランティア



瀧口雅子さん

16年度生 環境共生科学プログラム

サークルで、児童自立支援施設におじゃまして、子どもたちに勉強を教えたり、レクリエーションなどをしたりします。施設で子どもたちと接することを通して、人と接することの難しさを感じることもや、逆に、人間関係ができていくことの良さを実感することもあります。

フォークソング同好会では、バンド活動を行っていて、ドラムを担当しています。音楽をやっている者として、いろんな方に聞いてもらいたいという思いがあります。私たちのことを知っている人たちが増えていくと嬉しそうです。フォークソング同好会では、サークル単位のライブなども行っています。毎年の大きな行事としては夏にサマーコンサート、冬に定期演奏会を予定しています。ほかにもいろいろな活動が一般公開されているのでぜひ来てください。

▽大学生活を通して
たくさんの方に手を出しすぎていく気もしますが、充実した大学生活を送っています。ユニバーサルデザインやボランティアをやっているおかげで、障害のある方と接する機会ができました。また、児童自立支援施設での活動やフォークソング同好会を通して、さまざまな人とのつながりができました。そういつか今までにない人との出会いが、大学に来て増えたと思います。

ユニバーサルデザインやボランティアだけでなく、多くのことに興味があって、やりたいことは広がります。まだ迷っていることも多いですが、地域社会や生活に密着したことが

がやりたいと考えています。▽プログラムを選ぶにあたって迷っている人は、迷っているからこそ行動しましょう。自分で調べたり先生から情報を頂いたりして前もって知識を得て、自分が1番好きだと思えるところに行くのがよいと思います。

(文 17生 石谷絢)

担当

16生 田中栄一郎
17生 石谷絢

村上真理恵
見世梨沙

EVERYDAY

SOUKA E